

授業科目	老年看護学概論		
単位・時間数	1単位 30時間	開講時期	1学年 後期
1. 科目のねらい・目標			
1. 老年看護学の概要を理解する。 2. 高齢者の特徴について理解する。 3. 高齢社会や高齢社会における高齢者の生活を理解する。 4. 高齢社会の現状と老年看護における倫理的課題が理解できる。 5. 高齢社会における保健・医療・福祉の課題を理解する。 6. 老年看護の目的と役割を理解する			
2. 授業計画・内容			
回	時間	項目	内容
1	2	老年看護学の概要	1. 老年看護学の位置づけ
2	2	高齢者疑似体験	1. 高齢者疑似体験
3 ~ 8	12	高齢者の理解	1. 老年期の理解 2. 老年観と倫理的課題 3. 加齢に伴う心身の変化 1) 加齢に伴う身体的・精神的・社会的変化 4. 老年期の発達課題 5. 高齢者の生活 6. 高齢者の家族
9 ~ 12	8	高齢社会の理解	1. 人口高齢化の特徴とその影響 1) 高齢社会がもたらす保健・医療・福祉の課題 2. 高齢者ケアシステム
13 ~ 14	4	老年看護の機能と役割	1. 老年看護の独自性 2. 看護の役割と看護の役割 3. 老年看護の目標 4. 老年看護の原則 5. 老年看護の機能と役割 6. 老年保健・医療・福祉の動向 7. 高齢者の保健活動
15	2	まとめ 単位認定試験	
3. 教科書	系統看護学講座 専門分野 老年看護学 医学書院 系統看護学講座 専門分野 老年看護 病態・疾患論 医学書院		
4. 参考書	国民衛生の動向 厚生労働統計協会		
5. 成績評価方法	レポート、筆記試験、出席状況、授業態度で総合的に評価します。		
6. 備考(学生へのメッセージ等)	高齢者疑似体験を通して学んだことを活かし、高齢者と関わる力をつけましょう。		

授業科目	老年看護援助論Ⅰ（高齢者の日常生活援助技術）		
単位・時間数	1単位 15時間	開講時期	2学年 前期
1. 科目のねらい・目標			
1. 高齢者の加齢による変化や身体症状をアセスメントし、生活援助技術が実施できる。			
2. 授業計画・内容			
回	時間	項目	内容
1 2 3	6	身体的変化と生活リズムの回復に焦点をあてたアセスメントとケアの技法	1. 高齢者とのコミュニケーション 2. 食生活と摂食障害 3. 排泄および排尿パターンの変調 4. 運動・休息・睡眠の変調 5. 清潔・入浴にみられる身体の変調
4	2	自立生活の拡大に焦点をあてたアセスメントとケアの技法	1. 日常生活動作能力 2. 転倒予防
5	2	高齢者の主要徴候に焦点をあてたアセスメントとケアの技法	1. 身体的徴候 1) 痛み、かゆみ、脱水、浮腫、褥瘡など 2. 心理・精神的徴候 1) うつ、せん妄
6 7	4	高齢者の日常生活援助の実際	1. 学内演習 口腔ケア、陰部洗浄、おむつ交換、ポータブルトイレでの排泄援助、廃用症候群予防の自動・他動運動など
8	1	単位認定試験	
3. 教科書	系統看護学講座 専門分野 老年看護学 医学書院 系統看護学講座 専門分野 老年看護 病態・疾患論 医学書院		
4. 参考書			
5. 成績評価方法	レポート、筆記試験、出席状況、授業態度で総合的に評価します。		
6. 備考（学生へのメッセージ等）	高齢者に対する生活援助技術が実施できることが目標です。 1年次に学習した日常生活援助技術について復習しておいてください。		

授業科目	老年看護援助論Ⅱ（高齢者の健康障害時の看護）		
単位・時間数	1単位 30時間	開講時期	2学年 全期
1. 科目のねらい・目標			
1. 高齢者におこりやすい健康障害の特徴を理解する。 2. 健康障害がある高齢者に対する援助方法を理解する。 3. 人生の終焉を迎える高齢者の支援と看護について理解する。			
2. 授業計画・内容			
回	時間	項目	内容
1 ～ 4	8	リハビリテーション	1. リハビリテーションの歴史・概念 2. リハビリテーションの方法 3. リハビリテーション看護 4. 姿勢・移動に関するリハビリテーション： 杖歩行、松葉杖歩行、関節可動域訓練等
5	2	老年期にみられる疾患	1. 老年期にみられる疾患
6	2	施設における看護	1. 入院を必要とする高齢者の看護 2. 退院時の看護と継続看護
7 ～ 8	4	治療を受ける高齢者の看護	1. 薬物治療を受ける高齢者の看護 2. 手術療法を受ける高齢者の看護
9 ～ 13	10	障害のある高齢者の看護	1. 身体可動性のある高齢者の看護 2. 失語・構音障害のある高齢者の看護 3. 認知症のある高齢者の看護
14	2	終末期における看護	1. 臨死期の看護 2. 高齢者の死亡場所の変化 3. 施設における看取り 4. 在宅における看取り
15	2	まとめ 単位認定試験	
3. 教科書	系統看護学講座 別巻 リハビリテーション看護 医学書院 系統看護学講座 専門分野 老年看護学 医学書院 系統看護学講座 専門分野 老年看護 病態・疾患論 医学書院		
4. 参考書	国民衛生の動向 厚生労働統計協会		
5. 成績評価方法	レポート、筆記試験、出席状況、授業態度で総合的に評価します。		
6. 備考（学生へのメッセージ等）	成人とは異なる高齢者の健康障害時の看護のポイントを理解してください。		

授業科目	老年看護援助論Ⅲ（看護過程）		
単位・時間数	1単位 15時間	開講時期	2学年 後期
1. 科目のねらい・目標			
1. 運動器疾患のある高齢者の看護過程の展開方法を習得する。			
2. 授業計画・内容			
回	時間	項目	内容
1	2	運動器疾患のある高齢者の看護過程の展開	1. 看護過程の進め方 2. 事例提示 1) 変形性関節症による人工関節置換術を受けた患者の事例展開
2	2	個人学習	1. 情報の確認
3 4 5	6	個人学習	1. 情報の分析・解釈
6	2	発表	1. 情報の分析・解釈の発表
7	2	個人学習	1. 看護診断・目標・計画
8	1	まとめ	
3. 教科書	系統看護学講座 専門分野 老年看護学 医学書院 系統看護学講座 専門分野 老年看護 病態・疾患論 医学書院 系統看護学講座 専門分野 成人看護学 [10] 運動器 医学書院		
4. 参考書	エビデンスに基づく疾患別看護ケア関連図 中央法規		
5. 成績評価方法	評価表に基づいて評価します。		
6. 備考（学生へのメッセージ等）	授業は基本的に個人学習で進めます。 情報の解釈・分析については発表の時間を持ち、学習内容を共有します。 事例展開は実習に活用しましょう。		